

## 2024 ULTRA PROJECT

# BYEDIT | 多田智美・竹内厚

### ■プロジェクト内容（予定）

さまざまな人の知恵や技術を掛け合わせて何かを生み出していくことは、編集の力のひとつです。BYEDITは、「編集」の力を使いながら、ウルトラファクトリーから新たなメディアを立ち上げるプロジェクトです。1年間ゆるゆると編集会議をしながら、「メディアをつくる」「出来事をつくる」を実践していきます。加えて、ウルトラファクトリーの機関紙となる『THE ULTRA』の編集・制作を担当。過去には4か国語表記や、すべて開けばA0判型（長辺1m以上！）となる巨大な紙面、ファクトリーを活用したファッション写真撮影などの企画を実現しましたが、今年度の編集方針、企画案などは集まった学生と編集会議を重ねた上で決定します。

実施期間 2024年5月～2025年2月末

活動場所 ウルトラファクトリーを中心に

活動日 前期：毎週水曜日、後期：毎週木曜日  
いずれも18～20時の編集会議を軸に活動します  
夏季休暇中はおやすみです

### ■スケジュール

4月16日（火） エントリー〆切（13時まで）  
書類選考を経て

4月25日（木） 17:30～ 面接（申込者全員）@Zoom

4月30日（火） 面接選考結果をメールにて連絡

5月15日（水） 18:00～ キックオフミーティング@ウルトラファクトリー

### ■単位認定

あり

※通年の活動参加で、プロジェクト演習科目単位（2単位）を申請予定

### ■募集人数

10名程度

### ■応募方法

エントリーフォームより必要事項（志望動機／自己PR）を入力し、応募してください。別途、「今、気になってる人25人を列挙ください。（有名無名は問いません。また、その理由までは書く必要はありません。書式自由）」提出締切 [4/16（火）13時] までにデータまたは用紙にて提出してください。データで提出の場合は下記のメールアドレスへ送付、用紙の場合はウルトラオフィス（至誠館4階）まで持参ください。面接でメンバーを決定し、キックオフミーティングを行います。※エントリーフォームへは、特設サイトプロジェクト一覧の末尾にある【ウルトラプロジェクトのエントリーはこちら】から

### ■お問い合わせ

不明な点や質問は、ウルトラファクトリー オフィス（徳山・浦田）まで。

TEL 075-791-8482 Email [ultrafactory@office.kyoto-art.ac.jp](mailto:ultrafactory@office.kyoto-art.ac.jp)

※上記は現時点での予定です。変更の可能性もありますが、各日スケジュールは空けておいてください。

## □今年のBYEDITどんな感じでやりますか〜という話

…今年度のBYEDITをどう進めるか。ふたりのディレクターが今年の方針をZOOMで相談しました。その記録。

通話日：2024年3月26日13:34~14:26

**竹内**：もう何年目になるかな。

**多田**：BYEDITは2011年からなので14年目ですね。私はその前、08年のウルトラファクトリー創設から関わってるので17年……。

**竹内**：「それ、私が生まれた年です」の学生が入ってくるのももう間近！ という話は置いとくとして、最近の変化って何かある？ たとえば、BYEDITでつくってきたフリーペーパー『THE ULTRA』に関わることとかで。

**多田**：どうなんですかね、コロナ禍以降、フリーペーパーを手に取る場所に行くというのも減ってる気がするし、そもそもSNSの影響も大きいですね。

**竹内**：うん、たしかに。

**多田**：SNSが始まったころは、面白いのを見つけた！ って反射的にもシェアされてた気がするけど、今ってそういう投稿も少なくなってるから、目立つものばかりになっていて。

**竹内**：届けかたから考えんとだいたい難しいよね。『THE ULTRA』はフリーペーパーと同時に定期刊行物でもあるから、そう思えば違う価値もあって。

**多田**：うんうん。

**竹内**：単純にアーカイブとしての価値もあるし、定期刊行物がまとまってあるとそれ自体が“ある場”みたいな感じもして。ただの紙の集積のほずなのに。

**多田**：そういう長い時間軸って、なかなか学生とは共有しにくいところですね。

**竹内**：どうしてもつくってるときは、その年のことだけ考えてるしね。↗

**多田**：バックナンバーでミニ展示みたいなものやるのもいいかも。過去13年分の紙面から学生を載せたページだけ切り出してみるとか。

**竹内**：たしかに地下の通路でやるとかでもいいかも。ちょっと別の話になるけど、壁にチラシめっちゃ貼ってるあるとか掲示板とか、そういうのすごい好きなんよね。

**多田**：わかります。

**竹内**：ちょっとそういう場の温度もあったかい気がして。

**多田**：それはわかりませんが……。去年1年間、私は展覧会に関わる仕事が増えていて、キャプションとか挨拶文とかを空間に配置して、空間体験の一環として読んでもらうという機会が多かったんです。そういうのもまだまだ可能性ありそうやなって。

**竹内**：読むっていうのが手元と目線だけの小さく縮こまった形にばかり固定されてるから、もうちょっとほぐしていく必要がありそう。

**多田**：うん。歩きながら読んだり、しゃがんで読んだりとか、あれって何でしょう、血流よくなるから心拍数上がるのかなと思って。

**竹内**：やっぱりちょっとあったかくなる？

**多田**：というわけでもなくて（ピシヤリ）。アクティブに読むってことを研究してる人がいないか調べてみたいけど。

**竹内**：それで言うと、すこし前に壁新聞を毎月つくってた頃があって。

**多田**：やってはりましたね、『おおらかべ新聞』。事務所のトイレに貼ってました。

**竹内**：そうそう、あの仕事のときも、壁新聞を貼るための街の壁とか、掲示板とかが気になって……。

※この会議の続きは、BYEDITプロジェクトで……👏

五木田智央  
777  
888ブックス

# BYEDIT

- 何事か企てたい人 ●同じ学科に気のあう友だちがいない人
- 夢日記をつけてる人 ●ラッパー ●詩人 ●おもしろい髪型の人 ●いつも何か書いてる人 ●けっこう弱点のある人
- 片づけられない人 ●何かしら溜めこむ癖のある人 ●断食やったことある人 ●古いができる人 ●深夜に散歩してる人
- 動植物の好き嫌いがある人 ●注文するときに迷いすぎて店員を待たせがちの人 ●尾行したことがある人 ●海外の知人がいる人 ●ハッカー ●養蜂やってる人 ●楽器を持ち歩いている人 ●記憶力には自信がある人 ●coconogaccoに行ってた人 ●野菜を育てている人 ●俳人 ●個性とは無縁の人 ●曇天が好きの人 ●ある時代の歴史に詳しい人 ●いつも買ってるマンガ雑誌がある人 ●他大学のサークルに所属している人 ●家族のことで話したいことがある人 ●よく眠る人 ●断食経験のある人 ●バイトはしないという人 ●キャッチャー ●入学するまでは全然違うことをしていた人 ●正解よりも間違いを求める姿勢のある人 ●当たり前を疑い、不思議を探求する好奇心のある人

2018 (24)

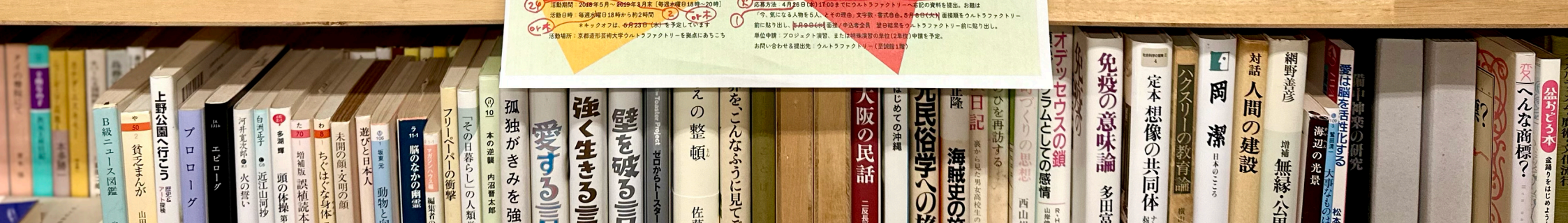
4月26日 (1) 17時締切!

BYEDITは、「編集」の力を使いながら、さまざまな物事を見つめ直し、新たなメディアを立ち上げるプロジェクトです。

ディレクター 五木田智央 [編集者 / MUESUM 代表] 竹内厚 [編集者 / Res] 募集人数 募集程度 (学年不問) \*あらゆる学科の学生の応募を歓迎します

29 活動期間 2019年5月～2019年4月全 (毎週水曜日18時～20時) 応募方法 4月26日(金)17:00までにクラウドファクトリーへ応募の資料を提出。お題は

30 活動日時 毎週が毎日18時から約2時間 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ \*今、気になる人物を5人、その理由、文字数、音読み、フリガナをクラウドファクトリー前に貼り出し、募集期間中編集者による選別、選定結果をクラウドファクトリー前に貼り出し、選定された人物のインタビュー、または映像制作の収録(2週間)申請を予定。応募要項: 京都府立芸術大学クラウドファクトリーを募集にあちこし お問い合わせ先: 募集要項を提出先: クラウドファクトリー (登録ID: 100)



magazine all about the ULTRA FACTORY vol.03 Issue 2011

# THE ULTRA

CONTENTS  
ULTRA PROJECT DIRECTOR INTERVIEW  
—KOEI MAWA—  
—KENJI YANOBE—  
ULTRA AWARD 2010 REVIEW  
ULTRA G FOR ULTRA STUDENT  
PROJECT PICK UP  
REVIEW ABOUT ULTRA FACTORY



# THE ULTRA

A magazine all about the ULTRA FACTORY

# NEW FLOOR NEW FLOOR! 11

2019年、ULTRA FACTORYの新工事が本格始動する。そこで今回の「THE ULTRA」では、いままではまた変化した新たなULTRA FACTORYを紹介していく。新工場の立ち上げから完成までの話に加え、これから目指す新工場の未来の形。そして今後、新工場で制作された作品や新たに取入れられた機材など、様々な視点から新工場がとらえられている。新しい一歩を踏み出したULTRA FACTORY。そこで新しい一歩を踏み出してもらいたい。

In 2019, Ultra Factory opened a new studio. In this issue of "THE ULTRA," we will introduce this newly transformed Ultra Factory. On top of episodes from the new studio's start-up to finish, we will also look at the new studio's aims for the future. Finally, we will introduce how the new studio is used from multiple viewpoints such as what works were made there and the newly installed equipment. A new step for Ultra Factory - we hope you too can take a new step forward.

vol.11 Issue 2019

# THE ULTRA

A magazine all about the ULTRA FACTORY

vol.10 Issue 2018

ULTRA FACTORYのご機材までとこれからを考えるために  
ULTRA FACTORY



# THE ULTRA

vol.08 Issue 2016

# THE ULTRA

vol.08 Issue 2016



THE ULTRA  
vol.07 Issue 2015

CONTENTS  
A DENKI FACTORY  
ULTRA FACTORY  
A PROJECT  
A FACTORY  
A MEMBER 054  
OUT ULTRA F



## □BYEDITディレクターの紹介



### 多田智美 Tomomi TADA

編集者

株式会社MUESUM代表／株式会社どく社共同代表

<http://muesum.org/> <https://dokusha.jp/>

#### [2023年度の仕事5つ]

| コクヨのヨコク研究所 + MUESUM(弊社) + 吉勝制作所によるリサーチ活動<GRASP>

<https://yokoku.kokuyo.co.jp/project/grasp/> <https://graspmates.site/>

| 50年以上続く奈良の福祉施設・たんぼぼの家のリクルートサイトの編集

<https://recruit.tanpoponoye.org/>

| 第18回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展に共同キュレーターとして参画

<https://venezia-biennale-japan.jp/j/architecture/2023>

| 大阪を誇る建築家集団ドットアーキテクツ初の作品集の編集

<https://jp.toto.com/publishing/detail/A0400.htm>

| フリーペーパー『DIVERSITY IN THE ARTS PAPER』(日本財団)14号以降のリニューアル

<https://www.diversity-in-the-arts.jp/>

#### [観察していること3つ]

| SNSで流れてくる、美容室で大変身した自分の姿を見て、驚き喜ぶ人たちの表情

| 非言語的なコミュニケーションや協働のヒントになること (バンド、ホットプレート料理など)

| なにを食べたら、なにが出るか



### 竹内厚 Atsushi TAKEUCHI

編集者、ライター

Re:S

<https://re-s.jp/>

#### [2023年度の仕事5つ]

| 月刊誌『SAVVY』で毎月関西のアーティストを取材する連載記事が70人目に

<https://www.lmagazine.jp/savvy/>

| 名古屋市の港まちで編集に携わってきた『ポットラック新聞』は20号に到達

[https://www.minnatomachi.jp/potluck\\_shinbun/index.html](https://www.minnatomachi.jp/potluck_shinbun/index.html)

| 住宅建築家38組のアトリエを訪ねての作品集制作 (青幻舎・刊)

<https://www.seigensha.com/books/978-4-86152-952-8/>

| 茨木市のこれからの都市政策にまつわるコンセプトブックや社会実験の記録集の編集

| 豊岡市での豊岡演劇祭のウェブサイト編集

<https://toyooka-theaterfestival.jp/>

#### [気になっていること3つ]

| ラジオ番組から生まれるいい具合のコミュニティ感

| 数年前にここに書いたときは男のスカートでしたが、今の関心はネイルへ

| いち早くAIを手なずけたかに見えるプロ棋士の日々